

WebSAM PrintCenter V  
Amazon Web Services 向け  
構築ガイド

## 商標および著作権

- Microsoft、Windows、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- PrintCenter、Rakuform、および spoolernet は、日本電気株式会社の登録商標です。
- Intel、Pentium は米国 Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Amazon Web Services およびすべての AWS 関連の商標、ならびにその他のAWSのグラフィック、ロゴ、ページヘッダー、ボタンアイコン、スクリプト、サービス名は、米国および/またはその他の国における、AWSの商標、登録商標またはトレードドレスです。
- 本文中および図中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

## はじめに

日ごろより弊社製品をご愛顧いただきありがとうございます。

本書は、Amazon Web Services環境でWebSAM PrintCenter Vを運用される利用者向けの構築における手順書となります。

また、本書はAmazon Web Services、WebSAM PrintCenter V 共に初めて扱う方を対象としています。

## 免責事項

本書の内容は、予告なしに変更されることがあります。

日本電気株式会社は、本書の技術的もしくは編集上の間違い、欠落について、一切責任をおいしません。

また、本書に従った導入、使用および使用効果につきましては、お客様の責任とさせていただきます。

本書に記載されている内容の著作権は、日本電気株式会社に帰属します。本書の内容の一部または全部を日本電気株式会社の許諾なしに複製、改変、および翻訳することは禁止されています。

## 最新の製品情報

最新の製品情報については、以下のWebサイトを参照ください。

<http://jpn.nec.com/websam/printcenterv/>

本書で参照しているマニュアル類は購入いただいた媒体に格納されています。


製品をご購入前のお客様は以下の Web サイトから、試用版の媒体、マニュアル、ライセンスの入手方法をご確認下さい。

<http://jpn.nec.com/websam/solution/iaas.html>

## 本書の表記規則

- 注意・補足の説明

本書では、注意すべき事項や補足事項については、以下のように表記します。

 : 気をつけて読んでいただきたい内容です。

 : 本文中の補足説明です。

- 表記規則

表記	説明	例
[ ]	メニューを示します	[設定]ー[定義モード]
「 」	以下の項目であることを示します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 画面の名称</li><li>・ 画面上のボタン</li><li>・ ツリービューのノード</li></ul>	「プロパティ」ダイアログ 「OK」ボタン 「優先度キュー」ノード
モノスペースフォント (courier new)	コマンドライン操作を示します。	以下のスクリプトを実行する \$> xxxxxx.bat

- 略称での表現

本書では、製品の用語において、以下のように略称で表現する場合があります。

正式表現	略称
WebSAM PrintCenter V	PrintCenter V、PCV
WebSAM Unified Management Framework	UMF
プリンタ構成管理データベース	CMDB
印刷履歴管理データベース	PCVDB
統合管理コンソール、スプールオプション コンソール	コンソール、SVC
Amazon Web Services	AWS

## 目次

1.	機能概要.....	6
1.1.	機能概要.....	6
1.2.	構成概要.....	6
1.3.	各コンポーネントの概要.....	7
2.	AWS 構成.....	8
2.1.	プリンタ監視モデル.....	8
3.	動作確認環境.....	9
4.	構築手順.....	10
4.1.	Amazon EC2 インスタンスの作成.....	10
4.1.1.	インスタンスの設定.....	10
4.1.2.	Amazon Machine Image (AMI) の選択.....	10
4.1.3.	Instance Type の選択.....	10
4.1.4.	NetWork および Public IP の設定.....	11
4.1.5.	Security Group の設定.....	11
4.1.6.	最終確認.....	11
4.2.	PrintCenter V の導入.....	12

# 1. 機能概要

## 1.1. 機能概要

PrintCenter V は、ベンダ・機種を問わず OA 機器（プリンタ・複合機）の印刷運用を統合的に監視・制御し、印刷運用における課題である「エコ化」「コスト削減」「印刷セキュリティ対策」の推進を支援します。

本構成を構築することで、AWS 上で各拠点の印刷運用を統合的に監視可能です。

## 1.2. 構成概要

システムの運用方法は、そのシステムで実行する業務ごとに異なります。PrintCenter V では、運用方法・用途に応じたシステム構成を行うことができます。

「図 1 プリンタ監視構成例」は各拠点のプリンタ稼働状況と、ユーザ毎の印刷履歴（日時、枚数、利用ソフト等）を一元管理する構成例です。この構成では、OA 印刷のプリンタ障害の監視、プリンタの利用状況と印刷状況を管理することができます。

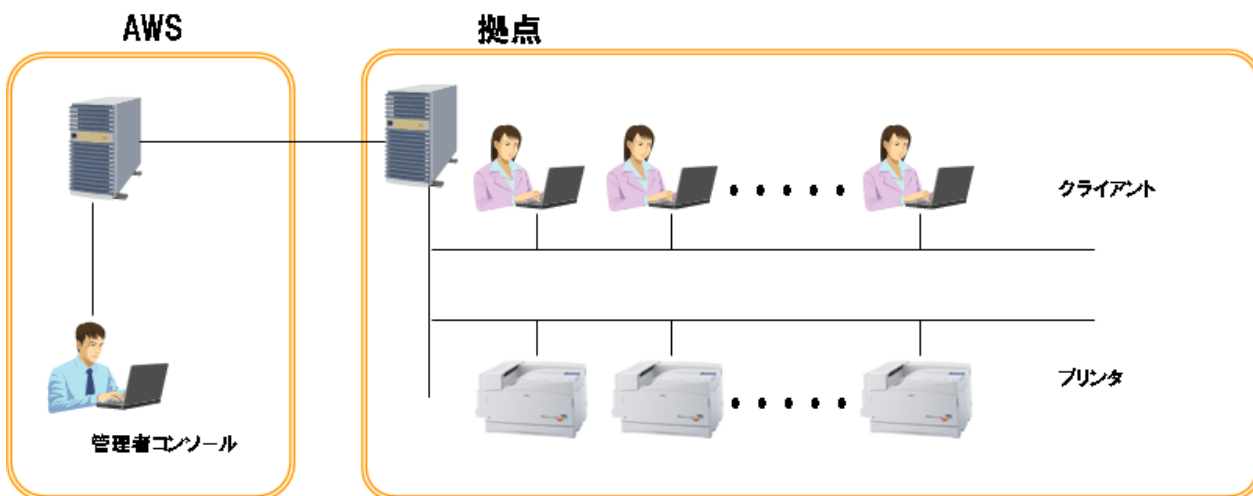


図 1 プリンタ監視構成例

### 1.3. 各コンポーネントの概要

「PrintCenter V」は、全てのデータを一元管理する「マネージャ」、用途に応じて様々な役割を担う「サーバ」、管理対象プリンタを監視、情報を収集する「プリンタプローブ」、管理者用の監視画面である「コンソール」、印刷時に印刷履歴を生成する「クライアント」、およびプリンタから構成されます。「サーバ」「マネージャ」「プリンタプローブ」「コンソール」は、同一のコンピュータ上にインストールすることも可能です。

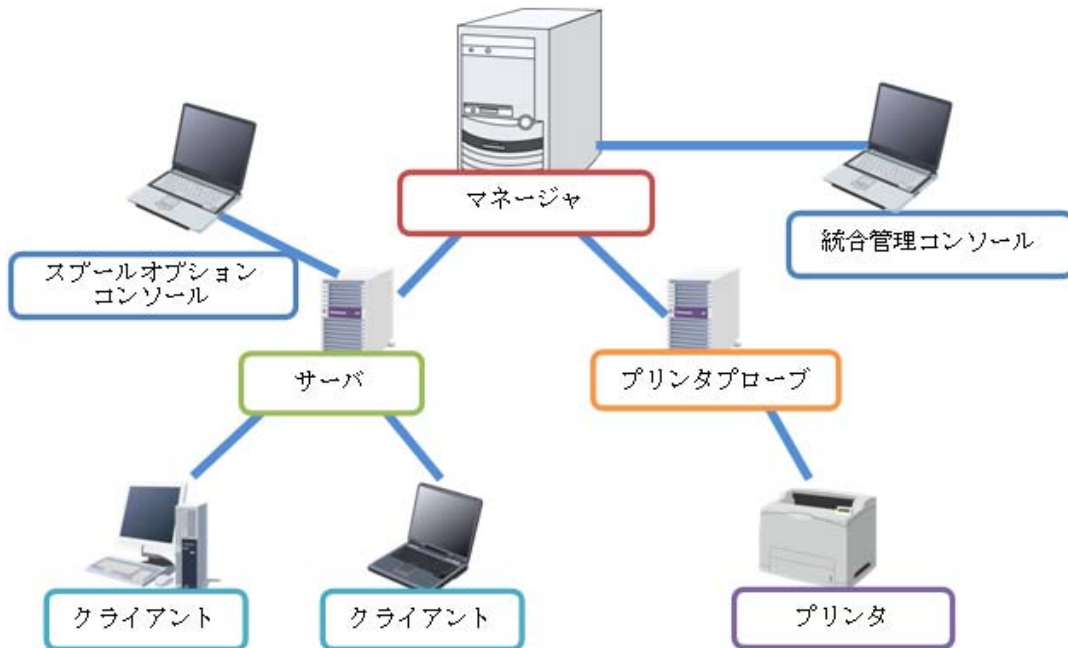


図 2 PrintCenter V の基本構成

表 1 PrintCenter V の基本構成

機能名称	概要
マネージャ	プリンタ管理機能・スプール管理機能を一元管理します。統合管理コンソールへの通知、サーバ・プローブへの対処指示制御を行います。
サーバ	クライアントからマネージャへの印刷履歴の中継を行います。 また、スプール管理機能として印刷要求ジョブの監視・管理を行うことで、様々な印刷の出力を制御し、「印刷履歴」をマネージャに送付します。
プリンタプローブ	プリンタ管理機能の管理対象となるプリンタを監視し、プリンタの利用状況情報、プリンタ状況や構成情報を収集します。
統合管理コンソール	マネージャに接続し、プリンタ管理を行うための管理者用ユーザインタフェースです。
スプールオプションコンソール	サーバに接続し、スプール管理を行うための管理者用ユーザインタフェースです。
クライアント	印刷時に「印刷履歴」を生成し、マネージャに送付します。

## 2. AWS 構成

動作確認済みの構成について記載します。

### 2.1. プリンタ監視モデル

AWS 上にマネージャを配置し、拠点のプリンタ管理と稼働状況の可視化を実現。

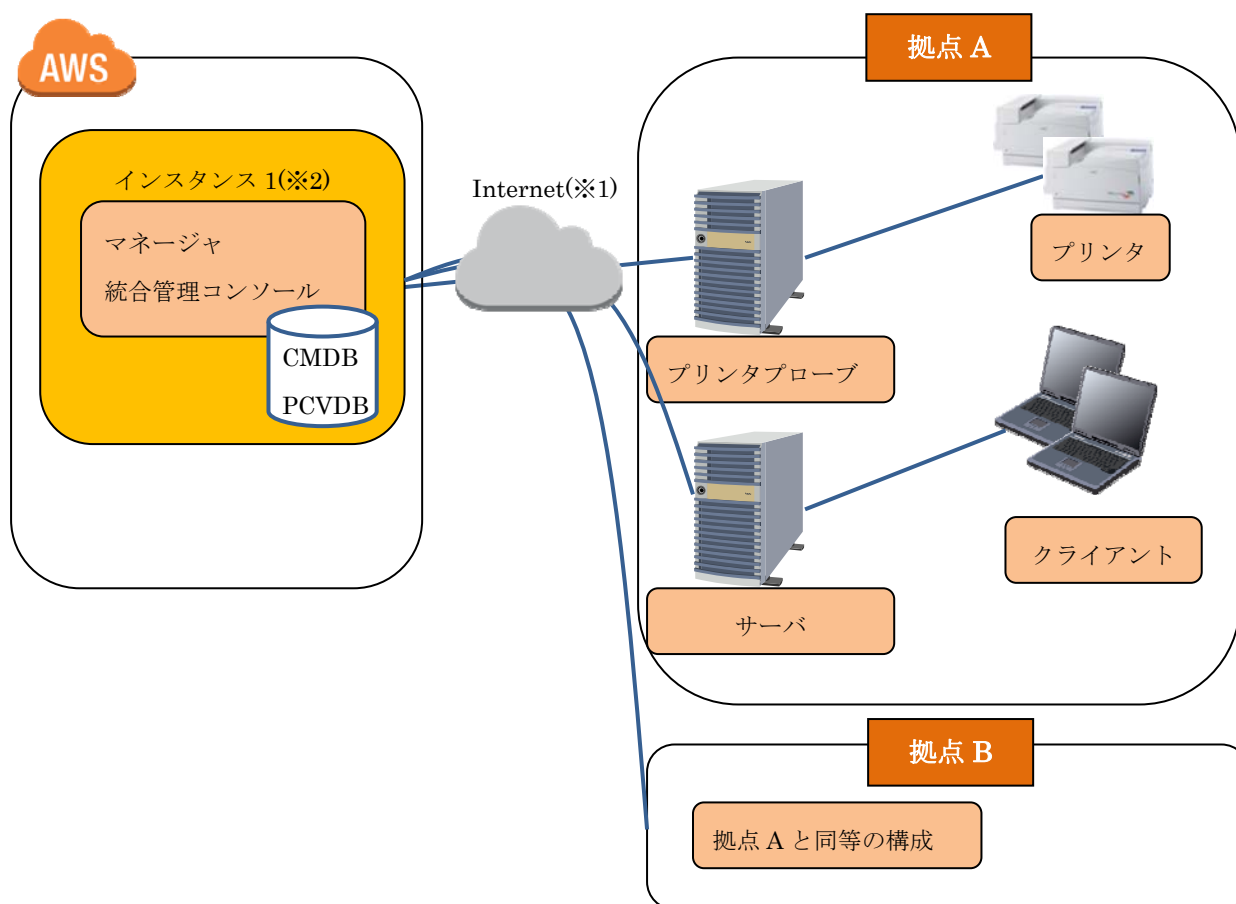


図 3 プリンタ監視モデル

※1

セキュアな通信を行うために AWS 上のインスタンスと拠点間は、VPN 接続、または、製品同梱の「SecureMonitor」を使用し、HTTPS 接続することを推奨します。

※2

この構成例では「プリンタ構成管理データベース、印刷履歴管理データベース」をマネージャと同じインスタンスにインストールしています。

表 2 必要なインスタンス

インスタンス名	動作させる機能
インスタンス 1	マネージャ 統合管理コンソール



### 3. 動作確認環境

---

本書に記載する内容は、以下の環境にて正常動作を確認しています。

表 3 動作環境

OS	Microsoft Windows Server 2012 Standard Microsoft Windows Server 2008 R2 Standard
PrintCenter V	PrintCenter V Ver2.0
Amazon Web Services	Amazon Elastic Compute Cloud (Amazon EC2)

## 4. 構築手順

---

必要なEC2インスタンスを作成した後、PCVのインストールを行います。

### 4.1. Amazon EC2 インスタンスの作成

Amazon EC2 インスタンスの作成はAWS Management Consoleにて行います。

「2. AWS構成」を参照し、導入するモデルに必要なインスタンスを作成して下さい。

#### 4.1.1. インスタンスの設定

AWS Management Consoleにて Services 一覧から EC2 を選択し、Create Instance 欄の Launch Instance を押下します。EC2 Management Console が起動します。

#### 4.1.2. Amazon Machine Image(AMI)の選択

「1. Choose AMI」にて AMI の選択を行います。

AMI とは、オペレーティングシステムやアプリケーションなどのソフトウェア構成を含んだ Amazon EC2 インスタンスのテンプレートです。PCV の動作要件を満たす適切な AMI を選択してください。

#### 4.1.3. Instance Type の選択

「2. Choose Instance Type」にて Instance Type の選択を行います。

Instance Type とは、CPU やメモリ、ストレージなどのリソースの組み合わせを定義したものであり、様々な Instance Type が用意されています。監視対象のサーバおよびPCVの動作要件を満たす適切な Instance Type を選択してください。

※PCVの詳細な動作要件（サポート対象のオペレーティングシステムや必要スペック）については以下のWeb サイトをご参照ください。

<<http://jpn.nec.com/websam/printcenterv/dousa.html?>>

#### 4.1.4. NetWork および Public IP の設定

「3.Configure Instance」にて、作成するAmazon EC2 インスタンスをどのAmazon Virtual Private Cloud (Amazon VPC) 上で起動するか指定します。

Amazon VPC とはAWS 上でユーザごとに論理的に分離された仮想ネットワークです。IP アドレスの範囲やサブネットなどを独自に設定することが可能です。適宜、適切な Amazon VPC をNetwork 欄から選択、もしくは新規作成してください。なお、本書ではデフォルトで用意されているAmazon VPC (ネットワークアクセスコントロールリスト (ACL) が全てのトラフィックを許可しているもの) を選択します。

また、Amazon EC2 インスタンスにPublic IP を自動で割り振るように設定するため、Public IP 欄の「Automatically assign a public IP address to your instances」にチェックを入れます。

※インスタンスは再起動時にIPアドレスが変更されないように、マネージャをインストールするインスタンスは、Elastic IPと関連付けてください

#### 4.1.5. Security Group の設定

「6.Configure Security Group」にて、Security Group の設定 (※) を行います。

Security Group とは、Amazon EC2 インスタンスのトラフィックを制御するファイアウォールとして機能します。Security Group にルールを追加することで、関連付けられたAmazon EC2 インスタンスに対して指定のトラフィックが許可されます。

「WebSAM PrintCenter V セットアップガイド」 — 「ファイアウォールの設定」を参照し、Security Groupの設定を行ってください。

※Security Group の設定は後から変更することも可能です。

#### 4.1.6. 最終確認

「7.Review」にて、作成するAmazon EC2 インスタンスの最終確認を行います。

表示されている内容に問題ないことを確認したらLaunch を押下します。以上でAmazon EC2 インスタンスの作成作業は完了です。

## 4.2. PrintCenter V の導入

PrintCenter V のインストールは、それぞれ以下のセットアップガイドを参照してインストールを行ってください。

表 4 セットアップガイド／機能対応表

セットアップガイド名	機能名
WebSAM PrintCenter V セットアップガイド	マネージャ
	サーバ
	プリンタプローブ
	統合管理コンソール
PrintCenter V クライアント導入・運用マニュアル	クライアント

Amazon EC2 インスタンスに PCV を導入する場合は以下の作業が必要です。

- Amazon EC2 インスタンスへの接続

インストール作業は Amazon EC2 インスタンスに対して RDP で接続して行います。

- インストールの準備

以下のいずれかにてインストールの準備を行います。

1.

PCV のインストール媒体を Amazon EC2 インスタンス上で読み込む必要があります。  
例えば、RDP 接続のローカルデバイスとリソースの共有機能を利用して、Amazon EC2 インスタンス上から RDP 接続元の DVD ドライブを読み込めるようにしてください。

※NW環境によっては通常のインストールより時間がかかることがあります。

2.

インストール媒体から ISO イメージを作成します。  
AWS 環境にインストールする目的に限り、ISO イメージの作成を許可しています。  
各ファイルのパーミッション、シンボリックリンクが媒体と同じになるように作成してください。  
なお、インストールする際に問題が発生した場合、作成した ISO イメージに問題がないことを確認してから問い合わせをお願いします。  
作成した ISO イメージは、AWS 環境のインスタンスに転送してマウントしてください。

- ・許可なく本ソフトウェアの全部または一部の複製、および本書の全部または一部を複製、転載することを禁止します。
- ・本書の内容について、将来予告なく変更することがあります。
- ・本書に記載した画面表示/説明図に関して、一部異なる場合がありますことをあらかじめご了承ください。

---

開発・販売元： 日本電気株式会社

Copyright © NEC Corporation 2011-2014

2014年 4月 初版発行

---